

オルガンと歌う合唱の名曲

# Mozart REQUIEM

モーツァルト『レクイエム』

ラインベルガー『レクイエム』 op. 60

# Rheinberger REQUIEM op. 60

抜粋

■合唱

東京オラトリオ研究会



■指揮 郡司 博



■オルガン 圓谷俊貴



■ピアノ 小林牧子



■ソプラノ  
長谷川愛



■アルト  
金沢真衣



■テノール  
吉田啓修



■バス  
井口和彦



■ピアノ 大村萌樹

2026 **4/25** [土] 13:30 開場 14:00 開演

新宿文化センター大ホール

全自由席 3,000 円

■主催 東京オラトリオ研究会

■後援・チケットお申し込み

おんがくの共同作業場 042-522-3943

<https://gmaweb.net/npo/>

※学生・車椅子 2,000 円（要予約）

※駐車場はございませんので公共の交通機関をご利用ください

※未就学児のご入場はご遠慮ください

※出演者への贈り物の受付はございません

※都合により出演者が変更になる場合がございます

ヨーゼフ・ガブリエル・ラインベルガー Josef Gabriel Rheinberger (1839-1901)  
リヒテンシュタインの首都ファドゥーツに生まれ、ドイツ帝国のミュンヘンで活躍した作曲家、オルガン奏者、指揮者、教育者。

5歳より音楽教育を受け、7歳でファドゥーツ・聖フローリン教会（写真）のオルガン奏者となる。1851年にミュンヘン音楽院に入学。その後同音楽院の教授、オルガニスト、指揮者、コレパティートルとしても活躍。「教師としての最高の能力と洗練さがあり、ドイツおよびその周囲において追従を許さない、真の理想的な教師」と称された。音楽教師として非常に優秀だったため、ヨーロッパ及びアメリカから彼を慕って生徒が集まった。作曲家としてはオルガン曲、宗教曲、管弦楽曲、室内楽曲、ピアノ曲など多くの作品を残している。

『レクイエム』op. 60（抜粋）この作品はラインベルガーが26歳の頃に書かれた。日本での初演は2000年（指揮：ホルスト・マイナルドゥス、管弦楽：アンサンブル of トウキョウ、合唱：東京オラトリオ研究会）、2001年には郡司博の指揮で演奏。2026年春、この隠れた名曲は郡司博指揮、オルガンとピアノ連弾、ソリスト、合唱団によって演奏される。

## 独唱者紹介

### ■ソプラノ 長谷川愛 Ai Hasegawa

東京都出身。10歳より児童合唱団に所属し、宗教曲からオペラ、現代合唱曲まで幅広い作品に触れる。モーツァルト歌劇『魔笛』に、童子、侍女役で出演。国立音楽大学声楽科卒業。声楽を田村由貴絵、望月哲也各氏に師事。現在、演奏活動とともに児童合唱の指導等も行なっている。

### ■アルト 金沢真衣 Mai Kanazawa

宮城学院女子大学学芸学部音楽科卒業。国立音楽大学修士課程声楽専攻オペラコース修了。現在二期会研修所第69期マスタークラス在籍。これまでに井坂恵、竹村靖子、高橋真美、黒田博、各氏に師事。2024年度国立音楽大学大学院オペラ《偽の女庭師》にラミー口役で出演。

### ■テノール 吉田啓修 Hironobu Yoshida

北海道赤平市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科在籍。声楽を三山博司、櫻田亮両氏に師事。これまでにF.ハイドン『天地創造』、ベートーヴェン『交響曲第9番』等でソリストを務める。端正な歌い口には定評があり、特に内省的な曲に対する相性は抜群の呼び声高い。第67回藝大オペラ定期公演の『魔笛』ではオーディションの末、武士役を務め好評を博した。趣味として筋トレや読書を好み、最近はアニメ鑑賞も始める。

### ■バス 井口和彦 Kazuhiko Iguchi

国立音楽大学声楽科卒業。声楽を蓮沼善文、小川雄二、クルト・ヴィドマーの各氏に師事。声楽・合唱指導法を牧野成史氏に師事。バッハの「ヨハネ受難曲」イエス役、テレマンの「マルコ受難曲」イエス役、モーツァルトの「戴冠式ミサ」「レクイエム」などのソリストとして多数のコンサートに出演、好評を博す。